

Green Brave


 AUTOBACS
 SUPER GT
 2023 SERIES

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT

Round.1

OKAYAMA GT 300km RACE

2023年4月15日(土) ~16日(日) 岡山国際サーキット(岡山県美作市)

■■■ 雨に翻弄された開幕戦。最後まで走り切り5位入賞 ■■■

予選日(土曜日)の天候は雨。9時10分から公式練習が行われ、吉田選手がコースイン。ピットインを繰り返しながら、種類の異なるレインタイヤのフィーリングを確認します。クラッシュによる赤旗中断を挟み、川合選手に交代。コースインしたものの、雨は激しさを増しており、すぐにピットへ。10時34分に2度目の赤旗が提示され、専有走行を行わずに公式練習は終了。ベストタイムは吉田選手がマークした1分38秒986(7位)です。

14時33分からB組のノックアウト予選(Q1)が行われ、川合選手がコースイン。雨は徐々に弱まっており、周回を重ねるたびにタイムが上がっていきます。川合選手は2周目にトップタイムを記録すると、最後のアタックで1分39秒019のベストタイムをマーク。堂々の2位でQ1を突破しました。Q2は15時18分から行われ、吉田選手がコースイン。4周目に1分38秒671をマークし、6位につけますが、急速に変化する路面コンディションとタイヤが合わず、大きくタイムアップできず。吉田選手のベストタイムは7周目にマークした1分38秒529(10位)。なんとかトップ10に入ったものの、本来のスピードを発揮できず、悔しい結果に。

決勝日(日曜日)午前中の天候は晴。昼過ぎから雲行きが怪しくなり、気まぐれな天候に翻弄されます。13時35分、全車ドライタイヤを装着して、決勝レースがスタート。川合選手は次々とライバルをパスし、7位でホームストレートに戻ってきます。序盤はGTA-GT300やFIA GT3と接近戦を演じながら、6~7位を走行。しかし、5周を過ぎたあたりから雨が降り出し、13周目には本降りとなります。タイヤ交換のため、ピットに入るクルマが現れる中、15周目にFCY(フルコースイエロー)導入。コース上に複数のクルマがストップし、SC(セーフティカー)に切り替わります。18周目にピットレーンオープンとなり、川合選手がピットイン。店舗メカニックがレインタイヤ交換と給油を行い、川合選手をコースに送り出します。コースに復帰した川合選手の順位は3位。ピットインのタイミングと素早い作業のおかげでジャンプアップ成功です。

22周目に2位に上がり、トップの#65 AMGを追いますが、天候が急速に回復し、上空には晴れ間が。今度は路面が乾いていく中でのレースとなり、川合選手はトップのペースについていくことができません。33周目、#9 AMGに抜かれ、3位にポジションダウン。41周目の終わりにピットに入り、吉田選手に交代します。ドライタイヤに交換し、給油を行いピットアウト。吉田選手の順位は3位です。吉田選手は#7 M4に抜かれ、4位を走行しますが、46周目を過ぎたあたりから再び雨が。コース上ではスピンやクラッシュなどが相次ぎ、49周目から2回目のSCが導入されます。落雷による赤旗中断を挟み、吉田選手はレース再開直後の54周目にピットイン。レインタイヤ交換のみでピットアウトしますが、ピットロードは大混雑となり、タイムをロス。#27 NSXの先行を許します。コースに復帰した吉田選手の順位は5位。吉田選手は集中力を切らさずに周回を続けますが、コース上の混乱は収まりません。2回の赤旗中断を経て、59周でレースは終了。5人の店舗メカニックのピット作業をはじめとする高いチーム力で、5位入賞をつかみ取りました。



決勝結果(GT300)

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 5位(59周、2時間45分49秒373)

予選: 10位(1分38秒529)

■ DRIVERS VOICE



吉田広樹 選手

(予選後) 悲しいです。自分たちが選択できる材料はいろいろとあったのですが、自分たちで選んだ結果なので、しょうがないと思います。どうにかベストを尽くそうとして、いきすぎてコースアウトもしましたが、ぶつけずに帰ってこられたので、良かったと思います。明日も途中から雨が降ってくる予報なので、アクシデントもあるかもしれないし、自分たちが今まで蓄積してきたデータを含めて、いい判断をして、あきらめずに優勝争いができればと思っています。

(決勝後) ちょっとすっきりしないレース展開でしたが、天候はしょうがないと思います。こうした荒れた展開でも、しっかり前に上がれました。エンジニアが作戦を考えてくれましたし、それに応えるようにメカニックがタイヤ交換をして送り出してくれました。孝汰もタイヤが苦しくなってもいい走りをしてくれて、耐えてくれたので、みんなの頑張りでこの順位につながったのだと思います。頼もしいですし、今後もチームワークを活かして、いいレースができればと思います。



川合孝汰 選手

(予選後) 午前中の走行がほとんど練習にならず、走行時間が短くなったので、ぼくがQ1を担当することになりました。路面温度が低いので、柔らかいタイヤを選択。予選の開始時間が遅れるほど雨が強かったのですが、走り始めてからは弱くなり、路面が回復していきました。赤旗が出る可能性があり、早めにタイムを出しにいったのですが、その分、予選後半の上がり幅が少なくなってしまいました。初めての岡山でのウェット予選でしたが、2位でQ1を通過でき、問題はなかったと思います。

(決勝後) 今回10位からのスタートで、まわりにルーキードライバーや新規チームがいたので、経験上、早めに抜いておきたいという強い気持ちがありました。チャンスがあった時にいけたので、そこは良かったと思います。ただ、雨の降り始めは苦しいところがあり、1台抜かれてしまいましたが、そのあとは前の集団がペースダウン。FCYの入るタイミングで一気に2番手に上がれました。抜いておきたいクルマはイメージ通り抜けたので、今後のプラスになると思います。



GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	UPGARAGE NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	59周
2位	LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG)	59周
3位	HACHI-ICHI GR Supra GT(トヨタ GR Supra)	59周
4位	Yogibo NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	59周
5位	埼玉ヨペット GB GR Supra GT(トヨタ GR Supra)	59周
6位	Studie BMW M4(BMW M4 GT3)	59周

天候:曇/雨 路面:ドライ/ウェット ※トップ6まで(出走27台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	18	TEAM UPGARAGE	23
2位	65	K2 R&D LEON RACING	18
3位	244	Max Racing	14
4位	27	Yogibo Racing	11
5位	52	埼玉ヨペット Green Brave	9
6位	7	BMW Team Studie×CRS	8

※トップ6まで

【次戦予告】 第2戦 5月3日(水)～5月4日(木) 富士スピードウェイ(静岡県小山町)

■ PARTNERS



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



ADVANCED SUSPENSION TECHNOLOGY

株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社西武ライオンズ



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



株式会社ドーム



株式会社日本ビューテック



株式会社プロモーション



Mechanix Wear LLC



※50音順